

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 (770) 6600
部 名	生涯学習部	課 名	橋本図書館	課長名	天野 元敬
事務事業名	施設運営事業				
予算上の事務事業名	施設運営費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援				平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	図書館法・相模原市立図書館条例・相模原市立図書館条例施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	施設運営 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
市民の自主的な生涯学習活動の支援に努め、広範な情報提供や相談体制の整備に資するため、図書館利用相談員の配置、奉仕業務全般に使用する用品選定と提供、図書館資料に対する管理業務を行い、市民の利用に供する。			市民 (他に、在勤在学者、広域利用締結市町村住民等)		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
○図書館利用相談員の配置 (10人) 通年 ○奉仕業務充実のため、図書館資料の整理用品の選定 (図書選定等業務用品、児童奉仕用業務用品等) 通年 ○図書館資料に対する管理業務 (OPAC図書館資料データの提供、BDSの設置等) 通年					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	29,949	29,941	30,360	41,692	41,692
一般財源	29,949	29,941	30,360	41,692	41,692
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	12,015	12,105	12,075	12,075	12,075
事業コスト合計	41,964	42,046	42,435	53,767	53,767
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	施設運営事業 (図書館利用相談員)			対象名称 と単位	図書館利用相談員 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	27,524	27,538	27,869	39,333	39,333
対象数	10	10	10	14	14
単位あたり経費(円)	2,752,400	2,753,800	2,786,900	2,809,500	2,809,500
前年度比		1.00	1.01	1.01	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	図書館利用相談員（人）	指標式と指標の説明	10人×12月＝120月		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	120.0	119.0	120.0		
目標	120.0	120.0	120.0	168.0	168.0
目標達成度（%）	100.0	99.2	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	専門的職員（図書館利用相談員含む）とそれ以外の職員の割合	指標式と指標の説明	専門的職員数／図書館職員数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	57.1	57.1	57.1		
目標	57.1	57.1	57.1	60.0	60.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		図書館奉仕に対する住民の需用に適切に対応できるようにするため、これからも専門的職員の増員が必要である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
既に平成18年度から、専門的職員の増員を実施。			人材の育成と確保。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		現行の体制で業務を検証し、委託や指定管理者制度の導入について検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			